



かがやく 沢石の子

沢石小学校だよりNo.7

令和5年9月25日発行 発行責任者 校長 安生昌弘

【教育目標】

自ら学び続ける子ども
自らつながりあう子ども
自ら身体をつくる子ども

2023スポーツフェスタ開催します

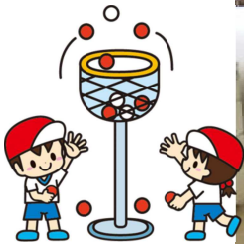
10月14日(土)にスポーツフェスタを実施予定です。何も制限のない開催は4年ぶりとなります。子どもたちは今、個人種目や団体競技、全校生リレーなどの練習に取り組んでいます。

沢石地区の皆様におかれましては、当日、沢石小学校の校庭においでいただき、子どもたちの頑張りに励ましの応援をいただければ幸いです。

また、地域の皆様どなたでも参加をしていただける種目、プログラムNo.16「沢石のみんなで玉入れ」があります。ふるってご参加ください。町づくり協会、沢石同窓会の方々にお世話になりながら、楽しくて安全なスポーツフェスタが開催されることを願います。



←沢石小HPのQRです。最新情報はこちらをチェック！



三春町ボランティアセンターから雑巾の寄付をいただきました。ありがとうございます。お掃除がんばります！



8/31学校運営協議会② 学校再編についての意見交換やスポーツフェスタについての協議をしました。



9/5避難訓練(不審者対応訓練)を実施。校内に不審者が侵入してきたときの避難の仕方について学びました。



要田駐在所の前田様には、非常事態のときの心構えや避難の仕方について詳しく分かりやすく教えていただきました。「きょうはいかのおすし」の再確認、大きな声をだす練習もしました。



保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守り、いつもありがとうございます。



「敬老の日メッセージカード」を書きました。そして町づくり協会のご協力をいただいて、地域の高齢者の方々に配布しました。一人ひとりが心をこめて書いたものです。ある子が書いたメッセージを紹介します。「沢石のおじいさん、おばあさんへ。笑うことは病気を予防することにもなるのでいつでも笑って楽しく過ごしてください。そして長生きしてください」



10月の予定

9月10日に、沢石町づくり協会長の佐久間様が校庭のレーキがけをしてくださいました。5月にもお世話になり、今回はスポーツフェスタの練習開始に合わせての環境整備にご協力いただきました。いつもありがとうございます。

2	月	いもほり体験1・2年(武田友敏様畑) 現職教育⑮ 安全点検	全14:45
3	火	SF全体練習①	123年14:55 456年15:45
4	水	SF全体練習② 鼓笛パート練習(業間) 全校集会(担フ⑥) クラブ活動⑥	123年14:55 456年15:45
5	木	鼓笛全体練習10:15～あすなろ会アリーナ清掃	1年14:10 2年14:55 3～6年15:45
6	金	教育実習生実習スタート～11/6まで 期分けの式5校時 鼓笛全体練習	全14:45
7	土		
8	日		
9	月	スポーツの日	
10	火	鼓笛全体練習1校時	12年14:55 3～6年15:45
11	水	SF全体練習③鼓笛パート練習(業間) 校外子ども会13:40～13:55	123年14:55 456年15:45
12	木	SF全体練習④	1年14:10 2年14:55 3～6年15:45
13	金	鼓笛全体練習	全14:45
14	土	スポーツフェスタ	全12:15
15	日	スポーツフェスタ予備日	
16	月	繰替休業日	
17	火	生活科見学2年まほら交流館	12年14:55 3～6年15:45
18	水	お弁当の日職員研修(小教研)のため変則下校時刻	1256年13:10 34年14:30
19	木	発育測定(1～4年) あすなろ会アリーナ清掃	1年14:10 2年14:55 3～6年15:45
20	金	コミュタン福島見学5年 発育測定(56年) 職員会議	全14:45
21	土		
22	日		
23	月	ALT来校日 音楽祭校内発表会	全14:45
24	火		12年14:55 3～6年15:45
25	水	小中学校音楽祭9:00～まほらホール4年 フレンド学級 クラブ活動⑦	123年14:55 456年15:45
26	木	あすなろ会アリーナ清掃	123年14:55 456年15:45
27	金	音楽特別授業(後藤札子先生)箏演奏体験 服務倫理委員会	全14:45
28	土		
29	日		
30	月	現職教育⑯	全14:45
31	火	社会科見学5年デンソー 月末統計	12年14:55 3～6年15:45



◆夜になるといつの間にか虫の鳴き声が気になるようになっていました。「灯火親しむ」季節の到来です。秋の夜長は読書に絶好の時期です。読書が人にとって、なぜ大切かというと「読書は人生の道案内である」という格言がよく言い当てていると思います。小説や物語は人生を疑似体験できるもので間違いなく自分の人生を豊かにしてくれるのです。子どもにとって国語力の向上も確実です。

◆息子と娘が幼児の時、本好きの子どもに育てて欲しいと思います。何とか時間を作ったのは絵本の「読み聞かせ」に精を出しました。それでも振り返ると十分には出来ませんでした。小学校生になると、読書好きの妻と一緒に市立図書館に行き、二週間ごとに五冊ずつ本を借りるという生活を小学校卒業まで続けました。二人とも自立して大人になった今、本を読むことを苦にせず、テレビやゲームに支配されない生活を送っているのは十二歳までの読書生活のおかげかなと思います。

◆子どもたちの読書体験がその後の生き方や学び方に大きな影響を及ぼすのは確かだと思います。短い時間でも家族で本を読む事も素晴らしい事です。テレビやゲームに支配された生活にピリオドを打つきっかけにもなります。子どもさんの町民図書館利用カードを作っていない方は、まずはお作り下さい。いつ読書生活が始まるかわかりませんから。(安)